



# 志保井が丘

平成27年11月17日

第16号

生徒数 1年46名 2年52名 3年59名 計157名 発行責任者：校長 半澤 敏

## 3年生と保護者の皆様へ・・・ 真の自主性を磨きだそう



福島市学校総合文化祭音楽発表会（3の1）

多彩な秋の行事を充実した気分の中に終え、冬立つとともに、中学3年生として置かれた立場を思い、身も心もひきしまるこの頃ではないかと思えます。

お互いの進路の問題に関心が集中してくる時期でもあり、さまざまな情報や憶測などが飛び交い、そうした中で自分というものを見失うことも多くあります。

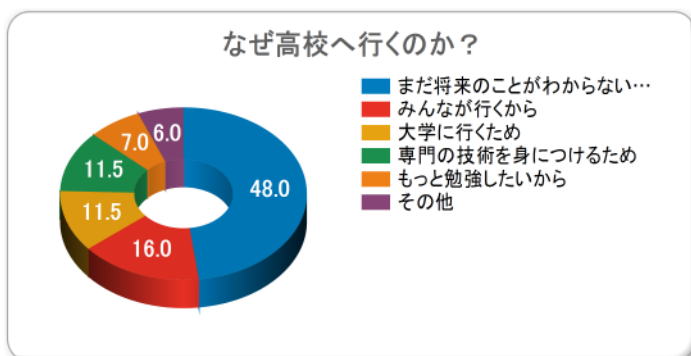
自分と進路について考えたとき、進路決定は自分から出発し、周囲の意見に耳を傾け、長い将来の方向を自分にとって最適なものとする積極的な判断であること。

そして、そのために、進路を学力によって当面あてがわれるものとせず、一人一人が自己の将来の設計図を持ち、意欲的に学力充実の努力をしていくように見守り、声援をおくってやりたいと思えます。

進路決定といいましても、周囲の人たちの目に見えぬところでの支えが大事です。教育相談日に限らず、十分な連絡を取り合って進めてまいりたいと考えています。

## なぜ高校へ行くのか？ 自分で高校を選ぶ力を持たせよう

右のグラフは、ある中学校で3年生の高校進学を希望する生徒に「なぜ高校に行きたいのか」を聞いたアンケートの結果です。この結果では、はっきりとした目的を持たずに進学を希望している生徒が過半数です。お子さんの場合はどうでしょう。私たちは、今後の志望校決定にはよりいっそうの慎重さが必要だと感じています。これまでも安易に進学して、挫折したという生徒は少なくありません。各高校の校風や特色をできるだけ自分の目で確かめる、先輩の話をも参考に、など情報収集も心がけたいことです。「自分で選んで行った高校だ」という自負を持たせるような進路指導を行っていきたいと思えます。



ここで、「高校選択の視点」について考えてみましょう。

各高校にはそれぞれ特色があって、子どもたちがそこで人間として豊かに育っていくための「学園」の生活があり、先生の指導・努力もなされています。

たとえば、取得教科のコース別や習熟度別の学習指導をはじめ、総合的な学習の時間、生徒会活動、部活動、学校行事など、子どもたちの個性・特質を生かす教育課程（教育計画）や分野が準備されています。ですから、子どもたちの「目的意識」や「長所」、「適正」などを考えながら選択することです。

特に、今日のように価値観の多様化が進む社会状況の中では、子どもの「他とかかわ

りながら未来を力強く生き抜く力」を育成するための自主活動や体験活動，社会的活動を重視したり，保護者との連携を重視しつつ指導を進めていく高校に着目し，子どもたちの長い未来への期待を寄せていくことが大切だと思います。

## 全校奉仕作業を行いました

11月9日（月）に全校奉仕作業を行いました。全校生徒が，それぞれ出身小学校を訪問し，感謝の気持ちを込めて校舎や体育館の窓ふき，教室や手洗い場，トイレの清掃などを行いました。今年は，小中一貫教育の交流活動として，小学校の高学年の児童と一緒に活動しました。小学生



に清掃の仕方を教えたり，交流を深めながら清掃活動に取り組みました。

また，各小学校には，かつての担任の先生や生徒たちをよく知っている先生方もいらして，頼もしく成長した生徒の姿を見ていただくことができました。生徒たちは，母校を懐かしがりながら作業に汗を流しました。生徒に感謝の心を育む大事な行事の一つです。

1年生の学年だより「きらめき」に紹介された生徒の感想をいくつか紹介します。

- 母校がきれいになってよかった。後輩たちに気持ちよく使ってもらえると思うとうれしい。
- 小学生の時は，何も意識しないで掃除をしていたが，中学生になってきれいにすることを意識して掃除ができた。また，小学生にも掃除の仕方を教えることができた。
- 後輩たちと一緒に昇降口の窓ふきをした。6年間お世話になった校舎に恩返しができた。



### 成長に伴う発達課題について

子どもの成長には，いくつかの発達課題があり，これには飛び級はありません。

簡単に3つの課題を挙げると，**親との信頼**，そこから生まれる**安定感**，それが果たされると，次は**自律**，そして，**自発・自主性**へと移ると言われます。どれかにつまずくと，中学生時代の気になる行動に結びつきます。

生徒の姿を見るとき，大人の姿勢がそのまま増幅されて見えるときがあります。

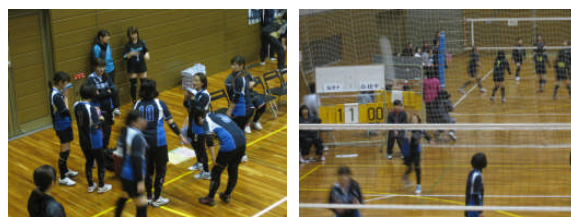
スパルタと称して，やさしさの受け皿のないまま，きびしく，やかましく育てられたり，やさしさだけで自己コントロールを身に付けずに育てられるのはどうでしょう。

子どもたちが，自分の生き方をしっかり見つめられるよう，十分話し合える家庭の雰囲気づくり，手ごたえのある大人の生き方を見せる必要があります。

### 福島市家庭バレーボール大会に出場しました

11月14日（土）に国体記念体育館で行われた福島市家庭バレーボール大会にPTAバレーボールチームが出場しました。試合は，開会式直後の第1試合で対戦相手は西根中チームでした。

市の教育長さんの始球式で試合が開始されました。ゲームは，8人制のソフトバレーボールで，ラリーが連続し，見応えのあるものでしたが，1-2で惜しくも敗れてしまいました。選手の皆さん，大会に向けての練習ご苦労様でした。



※ 学校の教育活動に対する質問等がありましたらお電話ください。電話562-2325